

守恒SOSネットワークだより



第4号 平成25年3月15日発行
守恒SOSネットワーク会議

今回は25年度に開催。もりつネットで開催の日程を連絡致します。

第4回「守恒SOSネットワーク」会議 / 第1回検索模擬訓練 報告

検索模擬訓練直前の2月25日(月)は、新たに作成した「守恒SOSネットワーク会議」を説明するポスターと、協力店用・車用のステッカー(SOSメール配信を24時間受け付ける 専用電話番号を広める目的で作成)を紹介しました。

また、2月22日に配信したSOSメールを踏まえて、①行方不明者がGPS(全地球型測位システム)装置を身に付けていた場合の位置情報の誤差を少なくする方法はないのか?②検索者が出来るだけ早く位置情報を取得する方法はないのか?③なくなった時の服装を正確に伝えることの難しさなどが課題として挙がりました。

続く学習会では、(有)故郷 ふれあい家族 代表取締役 野村美代子さんに、徘徊している人への声のかけ方や、模擬訓練の目標についてお話し頂きました。

① 声を掛けるときは・・・

ゆっくり近づいて相手の視野に入ってから話しかける。

- ・「こんにちは」などごく普通のあいさつから。
- ・「何かお困りですか?」もい質問。
- ・わかりやすい短い言葉でゆっくり話しかける。
- ・笑顔で相手のペースに合わせて。
- ・近くにいる人にも助けてもらいましょう。



② 模擬訓練は、誰にとっても安心・安全なまちづくりのために行います。

- ・認知症の人や障がいをお持ちの方の命を守る活動です。・徘徊している人への声掛けを学びます。
- ・身近な地域の地理や福祉ネットワークを実体験します。・GPSの有効性を確認します。

3月2日(土)114名の皆さんの参加で 第1回検索模擬訓練を行いました。胸に「徘徊検索訓練中」のゼッケンを付け、守恒本町・葉山・守恒4丁目・山手・星和台の5つのコースに分かれて徘徊役の人を探し、声の掛け方などを学びました。また、山手コースではGPS装置を使い、有効性を確認しました。

事務局を置いての訓練がよい。場所を絞り込んでももう少し長い時間実施できないか?GPSをもっと普及させたい。声の掛け方をもっとしっかり学ぶ必要がある。等々コース毎の意見交換会で出たご意見は今後の課題として積み上げていきます。ご協力頂いた皆様、ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。



おいしいカレーや豚汁をご準備頂いた皆様、ありがとうございました。当日の様子は、NHKニュース・翌日の毎日新聞朝刊で紹介されました。

ご協力頂いた皆様(順不同・敬称略)

保健福祉局高齢者支援課 小倉南区役所保健福祉課
小倉南区自治総連合会 小倉南警察署 セコム(株)
(株)ゼンリン北九州営業所 認知症・草の根ネットワーク
老いを支える北九州家族の会 守恒校区内各介護事業所